

厚生労働委員会

委員一覧 (25名)

委員長	山田	宏 (自民)	羽生田	俊 (自民)	若松	謙維 (公明)
理事	こやり	隆史 (自民)	比嘉	奈津美 (自民)	東	徹 (維新)
理事	島村	大 (自民)	藤井	一博 (自民)	松野	明美 (維新)
理事	川田	龍平 (立憲)	星	北斗 (自民)	田村	まみ (民主)
理事	山本	香苗 (公明)	本田	颯子 (自民)	芳賀	道也 (民主)
	生稻	晃子 (自民)	石橋	通宏 (立憲)	倉林	明子 (共産)
	石田	昌宏 (自民)	打越	さく良 (立憲)	天島	大輔 (れ新)
	神谷	政幸 (自民)	高木	真理 (立憲)		
	友納	理緒 (自民)	窪田	哲也 (公明)		(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第210回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出2件及び衆議院提出2件（厚生労働委員長2件）の合計4件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願13種類119件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律案は、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症の発生及びまん延に備えるため、国、都道府県及び関係機関の連携協力による病床等の確保の強化、保健所や検査等の体制の強化、機動的なワクチン接種の実施、水際対策の実効性の確保等の措置を講じようとするものである。衆議院においては、新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に係る医療の在り方等についての検討に関する規定を追加する修正が行われた。委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、医療措置協定の締結促進に向けた対応方針、医療人材確保に向けた支援策、保健所の更なる体制強化の必要性、感染症に係る検査体制整備の取組方針等について、岸田内閣総理大臣にも出席を求め質疑を行った。討論の後、多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

令和四年度出産・子育て応援給付金に係る差押禁止等に関する法律案は、令和4年度出産・子育て応援給付金について、差押えの禁止等を行おうとするものである。委員会においては、提出者である衆議院厚生労働委員長から趣旨説明を聴取した後、全会一致をもって原案どおり可決された。

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案は、障害者等の地域生活及び就労を支援するための施策の強化により、障害者等が希望する生活を営むことができる社会を実現するため、所要の措置を講じようとするものである。委員会においては、障害者の就労支援及び雇用の質の向上の推進、精神障害者の権利

擁護の在り方、国連勧告を踏まえた障害者施策の推進の必要性等について質疑を行うとともに、参考人から意見を聴取し、討論の後、多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法の一部を改正する法律案は、C型肝炎救済特別措置法に基づく給付金の請求期限を延長するとともに、C型肝炎ウイルスにより劇症肝炎に罹患して死亡した者に係る給付金の額の引上げ等を行おうとするものである。委員会においては、提出者である衆議院厚生労働委員長から趣旨説明を聴取した後、れいわ新選組から、特定C型肝炎ウイルス感染者の負担の軽減や救済に資する方策について検討し、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする規定の追加等を内容とする修正案が提出された。討論の後、順次採決の結果、修正案は否決され、多数をもって原案どおり可決された。

〔国政調査〕

第209回国会閉会後の8月25日、新型コロナウイルス感染症対策等に関する件を議題とし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による医療機関及び保健所の負担軽減策、新型コロナウイルス感染症の総陽性者数を把握するための簡便な手法の具体的内容、新型コロナウイルス感染症対策の検証についての厚労大臣の見解、感染者の全数把握見直しにより届出対象外となった者の健康観察の在り方、新型コロナウイルス感染症発生届に係る対象者の見直しを全国統一の基準で行う必要性、厚労省におけるこれまでの新型コロナウイルス感染症対応に関する厚労大臣の評価、医薬品、医療機器の供給状況を把握するための仕組み及びシステムの構築状況、国及び自治体の責任で保健所勤務の保健師の休養確保等について措置する必要性、新型コロナウイルスに感染した在宅障害者への自治体の支援に国が財政支援を行う必要性等について質疑を行った。

10月27日、歯科健診と健康増進の関係性、社会経済活動と感染対策の両立を踏まえた今後の新型コロナウイルス感染症対応、新型コロナウイルスワクチン接種率と新規感染者数との関係についての厚労省の認識、非正規雇用に対する入口規制等の法制度改革を行う必要性、最低賃金の地域間格差に対する配慮と改善に向けた政府における取組状況、緊急小口資金等の特例貸付の効果・課題を検証し同様の事態への対応を検討する必要性、オンライン資格確認の原則義務化後も機器導入が完了していない医療機関への対処方針、障害者と健常者が同じ職場で働くことができる環境の整備に向けた厚労大臣の見解、平時から医療機関における医薬品等の在庫情報を把握する必要性、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応方針の実行可能性、精神科病院における身体拘束を減らすために数値目標を設定する必要性等について質疑を行った。

11月1日、看護小規模多機能型居宅介護の普及促進のため制度改正を行う必要性、ウィズコロナに向けてエビデンスに基づき感染症対策の徹底を国民に示していく必要性、昨今の物価上昇に合わせた生活扶助基準の引上げを検討する必要性、未知の感染症を含めた感染症全般に係る後遺症の支援制度を創設する必要性、日本におけるオミクロン株対応2価ワクチン2種の取扱いが米国と異なる理由、妊娠から出産・育児まで伴走型相談支援が全

自治体で実施されるよう財政支援を含め検討する必要性、保育・医療等の分野における職業紹介をハローワークに限定する必要性、オンライン資格確認の義務化に関し現場の混乱を招かないようにする必要性、非正規公務員に対して無期転換申込権の付与を行うことに対する厚労大臣の所見、介助が必要な障害者の地域移行支援の推進に関する厚労大臣の認識等について質疑を行った。

11月8日、臨床研究法の対象を国際的な標準に合わせて広げる必要性、非正規雇用労働者と正規雇用労働者の格差是正に対する厚労大臣の見解、公益社団法人日本臓器移植ネットワークの業務において効果的・効率的に予算を活用する必要性、医薬品製造受託機関（CMO）における原材料高騰による影響等の課題についての認識、看護学生を対象とした給付型奨学金を創設する必要性、重度障害者の雇用施策につき自治体に任せるのではなく国が率先して行う必要性等について質疑を行った。

11月10日、障害者雇用に関する実情を調査し、もって本委員会に付託が予定される障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案（閣法第17号）の審査に資するため、株式会社良品計画（無印良品銀座店）を視察した。

12月8日、新型コロナウイルスワクチン接種後の死亡事例の因果関係評価のため調査を行う必要性、外出困難者等の就労支援における分身ロボットの活用に関する厚労大臣の所見、特別支援学校に近い駅の施設整備に係る国の支援を増やすよう厚労省が働きかける必要性、フィブリノゲン投与の蓋然性を評価する第三者認定審査会を設置し救済を進める必要性、C型肝炎救済特別措置法改正案に係る発議者による被害者等の要望を反映した提案の有無等について質疑を行った。

（２）委員会経過

○令和4年8月25日（木）（第209回国会閉会後第1回）

- 理事を選任した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 新型コロナウイルス感染症対策等に関する件について加藤厚生労働大臣、伊佐厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

石田昌宏君（自民）、打越さく良君（立憲）、川田龍平君（立憲）、熊谷裕人君（立憲）、三浦信祐君（公明）、東徹君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）、天島大輔君（れ新）

○令和4年10月25日（火）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 社会保障及び労働問題等に関する調査を行うことを決定した。

○令和4年10月27日（木）（第2回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 健康増進対策に関する件、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策に関する件、医薬品行政に関する件、医療保険制度に関する件、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する件、非正規雇

用労働者問題に関する件、最低賃金に関する件、コロナ禍における生活支援策に関する件、障害者雇用対策に関する件、新型コロナウイルス感染症に係る医療体制に関する件、精神保健医療福祉施策に関する件等について加藤厚生労働大臣、羽生田厚生労働副大臣、伊佐厚生労働副大臣、石井国土交通副大臣、本田厚生労働大臣政務官、畦元厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

島村大君（自民）、神谷政幸君（自民）、川田龍平君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、窪田哲也君（公明）、山本香苗君（公明）、東徹君（維新）、松野明美君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）、天島大輔君（れ新）

○令和4年11月1日（火）（第3回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○介護保険制度に関する件、新型コロナウイルス感染症に伴う課題への対応に関する件、生活保護制度に関する件、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する件、子ども・子育て支援に関する件、医療分野のデジタル化に関する件、職業紹介事業に関する件、非正規雇用労働者問題に関する件、障害者支援策に関する件等について加藤厚生労働大臣、羽生田厚生労働副大臣、和田内閣府副大臣、伊佐厚生労働副大臣、杉田総務大臣政務官、畦元厚生労働大臣政務官、自見内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

石田昌宏君（自民）、こやり隆史君（自民）、打越さく良君（立憲）、高木真理君（立憲）、若松謙維君（公明）、窪田哲也君（公明）、東徹君（維新）、芳賀道也君（民主）、倉林明子君（共産）、天島大輔君（れ新）

○令和4年11月8日（火）（第4回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○臨床研究に関する件、労働環境の整備に関する件、臓器移植に関する件、医薬品行政に関する件、看護師等の養成に関する件、障害者支援策に関する件等について加藤厚生労働大臣、長峯経済産業大臣政務官、鈴木内閣府大臣政務官、本田厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

川田龍平君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、東徹君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）、船後靖彦君（れ新）

○令和4年11月15日（火）（第5回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第5号）（衆議院送付）について加藤厚生労働大臣から趣旨説明を、衆議院における修正部分について修正案提出者衆議院議員中島克仁君から説明を聴いた後、加藤厚生労働大臣、伊佐厚生労働副大臣、本田厚生労働大臣政務官、宮本財務大臣政務官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

星北斗君（自民）、藤井一博君（自民）、川田龍平君（立憲）、高木真理君（立憲）、若松謙維君（公明）、東徹君（維新）、松野明美君（維新）、芳賀道也君（民主）、倉林明子君（共産）、天島大輔君（れ新）

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和4年11月17日（木）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第5号）（衆議院送付）について修正案提出者衆議院議員池下卓君、加藤厚生労働大臣、羽生田厚生労働副大臣、畦元厚生労働大臣政務官、本田厚生労働大臣政務官、鈴木内閣府大臣政務官、伊藤文部科学大臣政務官、杉田総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

友納理緒君（自民）、生稲晃子君（自民）、打越さく良君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、山本香苗君（公明）、東徹君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）、木村英子君（れ新）

○令和4年11月18日（金）（第7回）

- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第5号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

国立感染症研究所感染症危機管理研究センター長 齋藤智也君
社会医療法人同仁会耳原総合病院病院長 河原林正敏君
国立大学法人東京医科歯科大学学長 田中雄二郎君
医療法人社団裕和会長尾クリニック名誉院長 長尾和宏君

〔質疑者〕

石田昌宏君（自民）、高木真理君（立憲）、窪田哲也君（公明）、東徹君（維新）、芳賀道也君（民主）、倉林明子君（共産）、天畠大輔君（れ新）

○令和4年11月24日（木）（第8回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律案（閣法第5号）（衆議院送付）について岸田内閣総理大臣、加藤厚生労働大臣、本田厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

- ・内閣総理大臣に対する質疑

〔質疑者〕

こやり隆史君（自民）、高木真理君（立憲）、若松謙維君（公明）、東徹君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）、天畠大輔君（れ新）

- ・質疑

〔質疑者〕

川田龍平君（立憲）、東徹君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）、天畠大輔君（れ新）

（閣法第5号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主

反対会派 共産、れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和4年12月5日（月）（第9回）

- 令和四年度出産・子育て応援給付金に係る差押禁止等に関する法律案（衆第16号）（衆議院提出）について提出者衆議院厚生労働委員長三ッ林裕巳君から趣旨説明を聴いた後、可決した。（衆第16号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、れ新

反対会派 なし

○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案（閣法第17号）（衆議院送付）について加藤厚生労働大臣から趣旨説明を聴いた。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案（閣法第17号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

全国精神保健福祉センター長会会長 辻本哲士君

特定非営利活動法人日本障害者協議会代表 藤井克徳君

特定非営利活動法人東松山障害者就労支援センター代表理事 若尾勝己君

杏林大学保健学部作業療法学科教授 長谷川利夫君

〔質疑者〕

こやり隆史君（自民）、川田龍平君（立憲）、窪田哲也君（公明）、東徹君（維新）、松野明美君（維新）、芳賀道也君（民主）、倉林明子君（共産）、天島大輔君（れ新）

○令和4年12月6日（火）（第10回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案（閣法第17号）（衆議院送付）について加藤厚生労働大臣、羽生田厚生労働副大臣、勝俣農林水産副大臣、和田内閣府副大臣、本田厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

神谷政幸君（自民）、友納理緒君（自民）、川田龍平君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、山本香

苗君（公明）、東徹君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）、天島大輔君（れ新）

○令和4年12月8日（木）（第11回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案（閣法第17号）（衆議院送付）について加藤厚生労働大臣、畦元厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

打越さく良君（立憲）、高木真理君（立憲）、東徹君（維新）、芳賀道也君（民主）、倉林明子

君（共産）、木村英子君（れ新）

（閣法第17号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主

反対会派 共産、れ新

なお、附帯決議を行った。

○特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法の一部を改正する法律案（衆第15号）（衆議院提出）について提出者衆議院厚生労働委員長三ッ林裕巳君から趣旨説明を聴き、討論の後、可決した。

（衆第15号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産

反対会派 れ新

○C型肝炎感染被害者の救済に関する件、新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する件、障害者

雇用対策に関する件、障害者支援策に関する件等について加藤厚生労働大臣、政府参考人及び衆議院法制局当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

川田龍平君（立憲）、松野明美君（維新）、芳賀道也君（民主）、倉林明子君（共産）、山本太郎君（れ新）

○令和4年12月10日（土）（第12回）

- 請願第1号外118件を審査した。
- 社会保障及び労働問題等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。